



国にデジタル庁が新設された。世間は早晚デジタル化がこれまでも増して持て囃され一般化が図られるようになるだろう。移住協も IT 機器を活用し、島に移住を考える相談は 60 件を超えた。一昔前には想像もつかないようなデジタルの恩恵を享受しながら活動している。移住希望者に限らず、島に様々な思いを持った人々とも交流がある。

一方、高齢者を中心に危機を持たない人、操作のできない人、不得手な人もまだまだ多数存在する。コロナ禍の感染予防接種をはじめ各種申請などで混乱らしき事態も散見する。古性派人を自称する私はアナログ人間を自負してきた。自論だがデジタルは「高度な先進技術」、アナログは「協調・こころ・常識」などの性格を持つと思いついてきた。アナログの進化したものがデジタルではないか！とも思う。デジタル化がもたらす問題や課題も指摘されるようになった。これからの地域活動はデジタルかつアナログの必要性を併せ持った活用策が大事な視点に思えてくる。私は後期高齢者だが、もう少しデジタル化を理解できるように努めながら、地域に貢献できる移住協の活動を勧めたいと願っている。

おじやりやれ

季刊誌：春・夏・秋・冬発行

VOL.4 秋

- ・NPO 法人 八丈島移住定住促進協議会の設立 (活動経過・今後の活動)
- ・ホームページのリニューアル
- ・暮らしの相談窓口開設
- ・会長コラム「デジタルとアナログ」
- ・美味しい！つくレポ
「島レモンの天ぷら」
- ・編集後記



特集：移住者の声
「島での子育てについて」

島レモンの天ぷら

美味しい！つくレポ

作り方：
レモンの皮をむき、白いワタの部分を取り除いてスライスする。レモン果汁、マヨネーズ、天ぷら粉を冷水でといて、かき揚げを作るように油で揚げる。

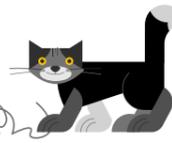
～島のレモンを皮まで食べるレシピ～
材料：レモンの皮 1/2 個、てんぷら粉 50g、マヨネーズ大匙1、冷水 60g、レモン果汁 10g、揚げ油適量、

つくレポ：
八丈高校の生徒が夏休みの課題でネットレシピを参考に、八丈島のレモンを使った料理を考えたそうです。移住協メンバーが実際に作ってみました！レモンだけで作る天ぷらはさっぱりしてレモンの味もしっかりありました。天ぷらの盛り合わせ時の一品におすすめ！蕎麦に入れたらさらに美味しいかも！



編集後記

八丈島に移住して気が付けば 25 年。沢山の島民に助けて頂きながら、充実した毎日を送っています。住んでいて良かったと思う事は、人との繋がりが深い事、豊かな自然がある事、都心に近い事です。微力ではありますが、今度は私が移住者の応援をして、豊かで幸せな地域にしていきたいと思い、本会に入会し活動をしています。(移住 25 年目 R)



【ご意見・お問い合わせ・ご連絡等は下記へお願いいたします】

今後とも本会の活性化と活動がマンネリ化しないように新鮮な息吹をご提供くださるよう、よろしくお願いたします。

事務所：〒100-1511 八丈町三根 4906-3 (みんなの秘密基地内)

電話番号：070-8310-7405 mail: 8joiju@gmail.com

(不在の際は、会長 内山江差夫 Tel.0905791-1427 mail: hachi2004esao@yahoo.co.jp)



「NPO 法人 八丈島移住定住促進協議会」設立しました！

八丈町の人口は、7,164 人(2021 年 5 月 1 日現在)。
1950 年の 12,887 人に比べて 4 割減少し、高齢化率は 40%増、子供人口は 11%減と、人口減少と少子高齢化が急速に進んでいます。このまま八丈島の人口減少が進むと経済活動がさらに低下し、医療・社会福祉・教育をはじめとする生活インフラの維持が困難になるため、島に移住者を増やすことは喫緊の課題です。
私達は移住定住を促進するための活動を、地域や行政の理解と協力を得ながら進めてまいりましたが、任意団体のままの活動には限界があり、この度、特定非営利活動法人を設立することとなりました。

活動経過～今後の活動

- 令和 2 年 2 月 任意団体「八丈島移住定住促進協議会」発足
- 令和 2 年 3 月 移住希望者相談を開始
- 令和 2 年 12 月 ホームページ開設
- 令和 3 年 1 月 会報誌「おじゃりやれ」創刊号発行
- 令和 3 年 1 月 島生活体験施設「おじゃれハウス」利用開始
- 令和 3 年 5 月 NPO 法人八丈島移住定住促進協議会の検討
- 令和 3 年 6 月 NPO 法人八丈島移住定住促進協議会の設立総会開催
- 令和 3 年 9 月 NPO 法人八丈島移住定住促進協議会 認定
- 令和 3 年 10 月 空き家調査開始
- 令和 3 年 12 月 島生活体験施設「おじゃれハウス」を旧リードアズーロへ一時移動



ホームページをリニューアルしました！

もっと見やすく！ もっと使いやすく！

八丈島で活躍されている漫画家さんと Web デザイナーさんに素敵なホームページを作っていただきました。
「島の暮らしを知りたい」「移住体験してみたい」「島での子育てってどう?」「島に仕事はあるの?」「島民と仲良くなれるか不安…」などなど。
移住するための情報収集から、住み始めてからの悩み解消まで、実際に生活する島民目線で発信していきます。



NPO 法人八丈島移住定住促進協議会による WEB マガジンです。

ホームページ：
<https://hachioiju.com/>



移住者にも島民にも
お役立ちの
暮らしの情報が満載！



暮らしの相談窓口開設します！

八丈島に暮らし始めて困った事や悩みごとなど、どんなご相談も私達がお手伝いいたします！
子供の保育・教育、害虫問題、家のリフォーム、仲間作り、ただ愚痴を聞いて欲しい…。解決できない問題もありますが、一人で頑張らず、一緒に考えていきましょう。
ご相談はもちろん無料！ 秘密は厳守いたします。
笑顔がいっぱいの暮らしやすい地域づくりが私たちの使命です。

お問い合わせ先
事務局長:持丸
TEL:070-8310-7405
Mail:8joiju@gmail.com



特集:移住者の声『八丈島での子育て』

夫婦で 2 人の子供を子育て中の女性 M 様より(八丈島在住 4 年)

子供を産んでから移住して今年で 4 年目になりました。
我が家における子育てで重視している事は、本物に触れる機会をたくさん与える事と、色んな世代の人とたくさんのコミュニケーションを取る事。そしてライバル(同世代の様々な価値観)に出会う事。それらの点から島での子育てについて考えてみようと思います。

まずは本物に触れる機会ですが、島の豊かな自然がそれを可能にしてくれています。玄関から望む天の川。車を数分走らせれば海水浴やトレッキングができ、様々な魚や植物、虫に触れることができます。簡単にそういった体験が毎日できてしまう環境はとても贅沢です！
また、漁師やダイバー、酪農家、黄八丈の織元といった産業に関わる方が身近に存在することは他では体験できない本物に触れる機会だと思います。



次に色んな世代との交流ですが、私達が住んでいる地域には回覧板があったり、みんなで草刈りをしたりといった交流があります。地域のコミュニティが活着ているので色んな世代との交流は容易ですが、こちらからの積極性(地域の一員である意識)もある程度必要です。そういったことが密になると、野菜や魚などのお裾分けをいただく機会も増えてきて助かります。子どもの成長をみて、地域の方々に声をかけてもらえるのも嬉しいです！

続いてライバル(同世代の様々な価値観に出会う事)ですが、ここは大きな改革を望みたいです。就学児童数が減少傾向にある中、島内に 3 校ずつある小学校、中学校を 1 校に統合することをお願いしたいです。学校によっては同級生のバランスが保たれていないことや、人数が少ないことで出来る事が限られていること、切磋琢磨することが難しい状況下にあります。移住定住においても学校の在り方は大事だと思いますし、数年後に就学予定の子を持つ親としても気になっている点です。

それから今現在、雨の日には屋内で遊べる施設がない事に困っています。小さいうちは子ども家庭支援センターを利用したり家の中でも工夫したりして遊べたのですが、3 歳くらいになると 1 週間雨続きの日は大変です。思い切り身体を動かせる場所ができればいいなと思います。

最後に病院や公共施設のキャッシュレス化が早く進めば嬉しいです。

